

株式会社 woodinfo 代表取締役 中村裕幸

[テーマ] 地上型からバックパックレーザへの世代交代による森林管理の変化



地上型 3D レーザからバックパックレーザに代えることにより、森林の計測作業効率は 10 倍に向上した。さらに点群生成も自動化されたため、今後 3D レーザの一般化が加速されると思われる。本報告では、先ず固定型とバックパック型レーザの精度比較を行ない、特に林業における森林資源の量・質的把握から、日常管理等への利用範囲の拡大について述べる。さらに、他分野への適用例についても説明する。

[自己紹介]

元清水建設(株)技術研究所、専門は建築生産および SCM

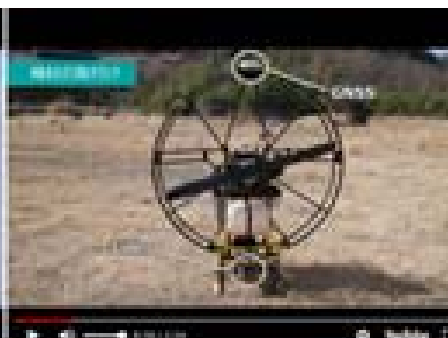
代表を務める株式会社 woodinfo(2011 年設立)は林業及び木材産業・流通業を中心としたソフトウェア開発と運営を専門とする。近年は 3D レーザによる森林解析にはじまるスマート森林を実現する一連野のシステム開発を行っている。点群解析のほか、ハザード解析、山林流動化等への業務拡大を行っている。

有限会社空撮ジャパン 代表取締役 西村博夫

[テーマ] パワードパラグライダー：災害地調査に大活躍



背中にエンジン駆動のファンと計測器を背負い、自由に空を飛び回る新しい手法です。無風の場所でも何時間も飛び続けることができる。災害地などでは複雑な地形や障害物が散乱する中で、人間の目で確認しながら低空で飛びながら計測ができるのは強力な手法です。空撮実績 1000 件以上。レーザ撮影も可能。有人飛行で規制がないので中低空、長時間撮影が可能で、ドローンで飛行出来ない所で応援出来ればと思っています。



https://youtu.be/03BIbf6L6_U

<http://www.sparj.com/report/PoweredParaGlider.pdf> にて紹介 2018-04-05 SPARJ 河村

一般社団法人 日本山岳救助隊 技術アドバイザー 泉 岳樹

[テーマ] ドローン安全運用にむけて

「無人航空機 (UAV, ドローン) 事故調査会」設立プロジェクト



<プロジェクトの概要>

ドローンが安全に使用されるための環境を考えた際、ドローン関連の事故の調査を行う機関が存在しないという現実にぶつかります。ドローンの実利用が広がる中で必然的に事故も増えます（実際に既にたくさん起きています）。そこで事故の原因の究明と再発の防止を目的とした事故調査会を立ち上げ、ドローンの事故調査の方法論を確立し、ドローン事故の調査を行える体制を築くことを目的とし、公正中立に運営するためにクラウドファンディングによって立ち上げるというプロジェクトになります。



写真 御嶽山噴火 王滝口7合目付近 (K&S 製 K4-R)

(会長予定) 千葉大学 本多嘉明

(副会長予定) 泉 岳樹

(事務局予定) 河村幸二

Makuake のクラウドファンディングを使って支援を募ります。

ドローンの安全運用と事故防止に向けて、下記 URL から皆様がたのご支援をお願いします。

<https://www.makuake.com/project/27831/>

2018-04-21 SPARJ 河村幸二 koji@sparj.com